Nishitokyo City
西東京市 議会だより
第45号
平成23年1月15日
（2011年）
〒188-8666 西東京市南町5-6-13　042-464-1311　編集／議会報編集委員会　発行／西東京市議会



平成22年
第4回定例会

第4回定例会最終日に議場にて
現議員の任期は1月20日までですが、任期中最後の定例会である12月1日に、議場で撮影しました。

主な議案等

「障害者総合支援センター」（田無町４丁目）５月にオープン！

～「西東京市障害者総合支援センター条例」を可決～

障害福祉サービスの調整や相談支援などを行う施設です。
有料施設（会議室など）は、９月から利用できます。　→詳細は７面「委員会の審査から」です

市議会は、新たな構成で出発！

昨年12月26日に行われた市議会議員選挙により、新たに28人の市議会議員が選ばれました（任期は1月21日から4年間）。

○第4回定例会 会期…11月15日（月）～12月1日（水）17日間

	審議件数	可決・採択	否決・不採択	継　続
議　案	25	25		
条　例	8	8		
その他	17	17		
議員提出議案	6	5	1	
請　願	2		2	
陳　情	28	5	17	6

※「可決･採択」には、趣旨採択を含んでいます。

♪美しい音色に包まれました♪

～議場で初のコンサートを開催～

11月25日（木）に、議場で初めての「議場コンサート」が開催されました。東京ニューシティ管弦楽団の演奏が議場に響きわたり、当日お越しの市民の皆さんからも歓声があがっていました。→詳細は６面です



紙面の紹介（今号のもくじ）

○一般質問の要旨 …… 2～6面
○用語の解説、議場コンサートレポート …… 6面
○委員会の審査から等、退任議員紹介 …… 7面
○議決結果一覧、請願・陳情の結果、意見書、議会ＮＥＷＳ、会議開催状況、編集後記 …… 8面

「声の市議会だより」をお届けしています。
（録音テープ）
お知り合いの方でご希望の方がいらっしゃいましたら中央図書館（☎042-465-0823）へお問い合わせください。

一般質問（1）

一般質問の要旨

第4回定例会で、28人の議員が行った一般質問の主な内容です。各議員が執筆し、その責任のもとに掲載しています。

※詳細は、2月上旬に発行予定の会議録をご覧ください（市内各図書館・両庁舎情報公開コーナー、議会事務局にあります）。

※ホームページでも2月下旬からご覧になれます。

凡　例

西東京自由民主党　（自民）
西東京市議会公明党　（公明）
民主党・社民クラブ　（民主・社）
日本共産党西東京市議団　（共産）
生活者ネットワーク　（生ネ）
無所属　（無所属）

安心・安全のまちづくりをめざして 西東京市の危機管理能力の向上を

望月　伸光（民主・社）

質問　危機管理能力の向上のため図上訓練を提案し、実施されているが、この訓練の実施状況と効果をどう考えているか。

答弁　危機管理体制の整備について各種個別マニュアルの作成を行っている。検証・見直しを図るため、机上型の訓練を行っている。今後も、効果的かつ実践的な訓練を実施し、危機管理体制の構築を図っていく。

意見　災害等を想定して訓練をするのもいいが、各種訓練を実施する前にも図上訓練を実施すると効果的と考える。

質問　高齢化社会が進む中、施設介護は待機者も多く、これからの高齢者福祉は在宅サービスが中心となると考える。その担い手でもあるホームヘルパーは重要な存在であるが、置かれている状況は非常に厳しい。介護従事者の待遇改善についてはどうか。

答弁　これまでも市長会等を通じて要望してきたが、引き続き適切な介護報酬の設定を国に要望していく。

◇BCP（事業継続計画）について
◇ヘリサインについて
◇向台町・新町地域の開発と周辺の道路整備
◇市内溢水対策について
◇投票率の向上について


ヘリサイン（保谷中学校）

溢水対策工事、その効果は？ 下保谷に特化型児童館がオープン

森　信一（民主・社）

質問　芝久保町4・5丁目東京街道溢水対策として、下流域となる地域で、さまざまな大規模工事が行われているが、その効果予測について問う。

市長　まだ、しばらく時間がかかると思うが、水がきちんと流れていくような対策または貯留槽等を計画的に配置することにより、溢水が緩和されるものと考えている。

質問　特化型児童館として10月にオープンした下保谷児童館の高度な音響設備や照明設備を操作できる職員は配置されているのか問う。また、同施設はそもそも音を出す施設であるが、近隣に対する防音対策、夜間の音の状況について問う。

市長　児童センター職員の操作習熟については、音響機材の設置業者の協力を得て、職員対象の操作研修を実施している。

答弁　ライブスタジオは防音扉、内部も吸音措置をとっているため、通常の音楽活動であれば問題はない。職員が騒音測定器を使用して、昼夜、館内外数カ所で測定をした。今後も施設一帯が住宅地であることを考慮して、一層の防音対策を講じていく。

◇高齢者緊急通報システム
◇歩行者の視点から見た交通道路整備について

さらなる福祉の充実を！ 公平で公正な社会の実現を！

山崎　英昭（民主・社）

質問　市民の一層の利便性向上のために積極的な取り組みを。

答弁　電子マネーやクレジットカード、ネットやコンビニなどを活用し、利便性向上を図っていきたい。

質問　誰もがいつ直面するかわからない介護や福祉への取り組みは、住みなれた地域で明るくいきいきと暮らし続けるためのセーフティネットとして必要不可欠だ。障害者・高齢者福祉の充実に積極的な取り組みを。

答弁　高齢者等が住みなれた地域で安心して健やかにいきいきと暮らせるまちづくりになるような努力を最大限していきたい。

質問　ホームページ上に電子公文書館を設置して、すべての公文書を電子化し、保存、公開せよ。

答弁　公文書の電子化について調査研究等をしていきたい。

質問　行政情報をわかりやすく的確に市民に伝えるための広報・広聴体制充実を。

答弁　市政の進展を見きわめながら、適切なタイミングで理解のしやすい情報を可能な限り公開し、説明責任を果たしていきたい。

質問　多様な市民の声を反映するために、今後も市民参加の充実に努めよ。

答弁　市民参加制度の充実を図っていく。

家庭の育児負担の軽減策を！ 健康都市西東京の実現へ！

桐山　ひとみ（民主・社）

質問　家庭の育児負担軽減策については、妊娠・出産・育児・子育てと切れ目ない支援をしていくことが不可欠だと思うが、市の4年間のこれまでの成果としてどのような事業があるのか。

答弁　乳幼児医療助成事業については、所得制限を撤廃した中で就学前までの無料化の実現、病児保育サービスの拡充、認可外保育園補助として月額5千700円から8千円に引き上げ、私立幼稚園預かり保育推進補助金の創設がある。保健衛生面では、ヒブワクチン接種費用補助事業も新たな施策として本年度から実施し、さまざまな施策展開を実施している。

要望　子ども手当や妊産婦健診の拡充など国策においても子育て支援に取り組んでいる。市も引き続き子育て支援策に積極的に取り組んでいただきたい。

質問　平成20年に私が「健康都市宣言をし、さらなる健康施策を重点的に取り組んでみてはどうか」と提案した。現在、合併10周年事業に向けて準備をしているというが、その進捗状況は。

答弁　1食・栄養、2運動・スポーツ、3心・休養、4学び・創造を掲げ、保健・医療・福祉・教育の連携、緑や安心して外出できる環境など空間の基礎づくりを掲げる予定だ。

振り込め詐欺対策について 撲滅に向けた取り組みを強化せよ

二木　孝之（民主・社）

質問　市の振り込め詐欺撲滅アクションプランへの取り組みと被害状況を問う。

市長　10月末現在市内において22件、3千466万円の被害総額となっている。市民の被害防止に向けた啓発活動を田無警察署、市防犯協会、防犯市民組織等と連携し、積極的に実施していく。

質問　東伏見駅東側武蔵関5号踏切の拡幅整備事業に向け、測量が実施されたと認識している。改修案については基本設計の段階から議会に示すよう求める。

市長　現在6.8ｍの幅員を総幅員10ｍに拡幅整備する。基本設計は完了しているので、議会に示したい。

質問　碧山小学校では3千400㎡の校庭芝生化が実施された。今後の他校への展望と芝生の管理と校庭利用制限による影響は。

教育長　芝生の維持管理は、学校と地域の連携が強化される。芝生の養生期間は、児童や施設開放団体に協力を求め、芝生化をしていない校庭部分を使用するよう協力をいただく。平成23年度には3校の芝生化を予定。

質問　中学校完全給食の実施時期と課題を問う。

教育長　開始初年度は、5月20日を基準日とする。受け入れ側の中学校が未経験の給食指導を行うので、教員の意識改革が必要である。


芝生の校庭（碧山小）

公共サービス基本条例の制定と 非正規雇用職員の労働条件改善を

相馬　和弘（民主・社）

質問　政権交代により政府は「新しい公共」の考え方を示した。市民との協働、地域のきずなの再生など目新しいことではなく、西東京市政でもまちづくりの理念として掲げてきた。市長の評価、考え方を問う。

市長　市民協働推進センターと協働コミュニティ課を設置した。今後、国の議論や制度化を見ながら調査・検討する。

質問　平成21年に公共サービス基本法が制定された。これは必要となる良好な公共サービスを保障することが豊かな地域社会の発展を実現することとし、また、従事者の適正な労働環境の整備を求めている。この法律の実効性を担保するために「公共サービス基本条例」を制定する考えはないか。

市長　基本法の理念は市政運営に既に反映されているものも少なくない。条例制定は、他団体の動向や取り組みにも留意する。

質問　全国で3人に1人が非正規労働者と言われている。市も半数以上が非正規職員で恒常的、基幹的、専門的なサービスを担っている。5年の雇い止めが人材の流出と雇用不安をつくっている。雇い止めを廃止すべきではないか。

市長　待遇改善に努めてきた。今後も調査研究する。

一般質問（2）

失われゆく緑を条例活用で守れ！予算マネジメントに力を尽くせ！

納田　さおり（無所属）

質問　財政が厳しいと言いながらも今年度の予算編成は拡大路線をとり、過去最高の予算規模になった。しかし、単年度収支の赤字が続く現状で来年度もこのような傾向を続けていたら中長期的には財政破綻も招きかねない。予算マネジメントをどのように考えるのか。

答弁　財源確保は一層厳しくなる。行財政改革に徹し、施策評価の結果を十分踏まえ予算編成に取り組む。

質問　早稲田大学とはさらなる連携の機運が高まり、武蔵野大学とは様々な分野で人的交流が進むが、今後の大学活用のビジョンは。

答弁　両大学ともにこれまで築き上げた関係を重視し、さらなる連携の充実発展を図る。

質問　人にやさしいまちづくり条例における3％の緑地相当分の金銭納付が増えている。業者任せの緑地保全になっていないか。

答弁　開発事業の事前協議において、できるだけ緑地設置を指導しているが、金銭納付分も貴重な財源だ。

意見　中原小学校とひばりが丘中学校の建てかえは、平成18年度に行われた学校施設適正規模適正配置計画検討会で検討されるべき課題であった。対応が遅きに失している。早期に建てかえ計画を策定せよ。

袋の値段にかかわらず家庭ごみの減量・資源化にあらゆる手だてを

大友　かく子（生ネ）

質問　ごみの減量・資源化を一層進めるための生ごみ資源化の検討状況は。

答弁　学校・保育園給食の生ごみの資源化は今年度の実施に向け調整している。家庭のものは成分のばらつき等、引き続き調査したい。



質問　文化芸術振興計画策定における子どもの参加の状況と進捗状況は。

答弁　広域的な市民アンケート、活動団体・児童青少年を対象とした調査や子どもワークショップイベントを開催した。これらの結果を文化芸術振興推進委員会に報告し、計画素案の提言に向け検討いただく予定。

質問　児童館・学童クラブの民間委託の点検・評価の仕組みが整っていない。また今後の児童館・学童運営の市の方向性について問う。

答弁　点検・評価は大変重要。PDCAサイクルをきちんと運用することが行政に課せられた役割の1つである。第三者評価の導入を検討している。平成23年度予定の委託の総括結果を踏まえ24年度以降検討したい。

◇予算編成過程での情報公開と協働の視点での事業仕分けについて

◇緑を守り・ふやすための方策と市内の緑の現状を正確に把握するためにも公園緑地の適正配置方針の再検討を行うことについて





市内の緑地（東大農場）

地域主権に向け市民協働を進めよ 市民参加で自治基本条例の制定を

板垣　洋子（生ネ）

質問　協働促進の基本計画の作成の進捗状況について。

答弁　各種団体との連携の仕組みを検討したい。

質問　自治基本条例制定への見解と着手の時期は。

答弁　地域主権戦略大綱で住民自治の重要性が強調されている。調査研究をする。

質問　障がい者の総合的かつ連携した相談体制と切れ目のない支援について。

答弁　障害者総合支援センターに設置する相談支援センターを中心に細かく行う。

質問　外国人の子どもたちへの支援について。

答弁　児童生徒の状況やニーズを把握する。また多文化共生センターと連携し、支援のあり方を検討する。

質問　緑化基金の創設時期について。寄附は可能か。

答弁　今年度中の実施を目指す。寄附できるよう検討。

質問　人にやさしいまちづくり条例の見直しについて。

答弁　10年の範囲内でそれぞれの場面で検証をする。

質問　地域社会での防災のあり方と取り組みについて。

答弁　初動対応を地域で的確に行うことができる体制づくりに向けた情報発信を積極的に行う。

意見　計画づくりには女性の参加と既存コミュニティとの協働で進めよ。

◇男女平等推進条例の制定

◇子育て支援事業の検証を



防災訓練の様子

議員報酬には何が含まれるのかいまその妥当性が問われている

森　てるお（無所属）

質問　4年間の任期中で最大の事柄は報酬の引き上げだった。そこでは主権者はだれか、このまちの主人公はだれかが問われた。市長が報酬の20％削減を主張し当選したときは明らかに市民が主人公だった。報酬に対する議会の態度については年末の選挙の争点になると思う。報酬の支払い理由について、市は支払い者としてどう考えているのか。

答弁　報酬審議会や議会で審議してもらい、条例を制定して給付している。報酬は役務への反対給付であり、議員報酬は議員活動への反対給付だ。議員活動は幅が広く、期末手当が支給できるなど生活給的な要素が含まれている。報酬審議会の考えとして行政内部の位置関係で決めるという方式が採用された。

質問　行政の説明責任が果たされていない。議員報酬は他の特別職にいう報酬ではなく、生活給そのものでもない。だったら何が入っているのかを説明していただきたい。

答弁　原則は議員活動に対する対価であり、その中に一定の生活給的なものが入っていると解釈している。常勤である部長を基準に、議員活動は四六時中ではあるが非常勤という点を考慮して体系をつくった。

2期8年　議会・地域・奉仕活動 市民の皆様と行政、議会に感謝

大塚　光男（自民）

初当選以来「初心を忘れず」、「地域・ボランティア活動」を原点に「本音で真剣」な議会活動をしてきた。このたび一身上の都合で議員を引退するが、これまで議員として一定の成果を挙げてきた「ティーボールの普及」、市民悲願の「市民野球場」の新設、そして「地域の安全安心」について質問する。

ティーボールの普及

質問　東京国体や教育現場での取り組みや状況は。

答弁　「ティーボール発祥の地」にふさわしい行事となるよう西東京市ティーボール協会と協議し、取り組んでいきたい。青嵐中では早稲田大学から講師を招き、公開授業を実施した。

市民悲願の「市民野球場」

質問　ひばりが丘野球場が4月にオープンする。野球を通じた青少年の健全育成に、また社会人がスポーツに興じる場として活用していただきたい。オープンに向けた取り組み状況は。

答弁　住民説明会の実施や愛称の募集、オープニングイベントの実施を検討している。野球協会に協力いただき、安全な施設利用ができるよう努める。

質問　交通安全対策に全庁挙げて取り組むべきだ。

答弁　関係機関との連携を強化し、対策を図りたい。

子どもたちの体力低下とペアレンタルコントロールについて

田中　のりあき（自民）

質問　子どもの体力は、1985年をピークに下がり続けている。子どもたちの体力の低下について、どのように把握しているのか。

答弁　本市の児童生徒の体力は、都の平均レベルであるが、運動する子どもとそうでない子どもの二極化傾向や、体力の低下がある。

質問　学力の向上には運動も大事であると言われているが、市の対応は。

答弁　都と連携して、「一校一取組」、「一学級一実践」を全校で推進している。また、本市の実態把握に努め、一層の体力向上に向けて取り組んでいきたい。先進的な取り組み等を参考にして、体力向上を図りたい。

質問　フィルタリング等を活用して、児童生徒の携帯電話の利用を親が管理する「ペアレンタルコントロール」が必要ではないか。

答弁　ハイテク犯罪から児童生徒を守るため、保護者の理解を深め、意識の向上を図っている。

質問　セーフティ教室等で、児童生徒への周知はもとより、危険性を周知し、保護者の参加を促すべきである。

答弁　国や都の調査や近隣市の取り組みを参考にして、ニーズに合った研修会や講演会となるよう内容を工夫し、多くの保護者の参加が得られるよう努めたい。

一般質問（3）



教育委員会は取り組みを明確に！ 総合的判断による予算編成を

稲垣　裕二（自民）

予算編成方針について

質問　資源の適正配分の視点から施策評価結果を予算に反映させるとのことだが、どのような基準で予算の増減額を見積もるのか。

市長　数値的な基準を設けることはない。可能な限りコストの縮減を図る。

質問　効率化した結果をどのように示していくのか。

答弁　はっきりとしたことは申し上げられないが、改めて議会に説明したい。

教育委員会について

質問　行革への具体的な取り組みがよく見えないが。

教育長　通学区域を着実に見直し、維持管理コストの削減に取り組む。

質問　独自に何に取り組んできたのか。通学区域の見直しは行革だとは思えない。

教育長　エアコン設置などのニーズにこたえながら、スリム化を進める。

質問　中学校給食の開始が平成23年5月20日となった。早まった理由は。

教育長　小学校長会等からの意向を学校給食運営審議会で審議し、運営上支障がなく適当とされた。

（財）文化スポーツ振興財団

質問　今後寄附される7億円及び運用益約1億円は。

市長　使途未確定のため、財政調整基金に留保する。

意見　文化、スポーツのためにどうあるべきか議論を。

市民まつりの充実と今後の方向性 市長の政治姿勢と軌跡について

鈴木　久幸（自民）

質問　今年の市民まつりは天候にも恵まれ大盛況だった。いこいの森公園を最大限に使い、出店数も過去最大となった。しかし、一方では買い食いなどでごみが散乱したり、プレゼントなどをもらうために行列ができたりして、本来の市民まつりの目的から離れてきたように思う。合併10周年を機に市民まつりを見直す必要が出てきたと考えるが。

答弁　市民まつりはボランティアや協力団体の皆様の協力のもと、一貫して「新しいふるさとの創造」をテーマに行われている。市民まつりを総括する実行委員会の意思を尊重していきたいと考える。

質問　今後の市民まつりは、市長は保谷駅再開発事業、住吉福祉会館の建てかえ、エコプラザの建設などの事業を「見直す」と言って就任したが、今では、それが「市長の目玉事業」として「業績」におさまっている。どのように考えているのか。

答弁　「政治姿勢」に関するものであるが、現在、市としては総合計画後期基本計画に基づき、各種事業を実施している。この計画をベースに先の市長選挙で示した政権公約（マニフェスト）を踏まえた計画行政を進めるのが、行政トップとしての基本的姿勢である。

プレミアム商品券事業の拡大を 悲惨な児童虐待の根絶を目指せ

海老沢　進（自民）

プレミアム商品券事業

質問　2億2千万円相当の商品券が11月に販売され、各商店街では歳末セールへ向け起爆剤になると期待しているが、昨年度実施した検証と今後継続の見通しは。

答弁　国の経済対策として昨年度は2回、計5億5千万円相当を発行し、景気浮揚、売り上げ向上に高い効果があった。今後については国の経済対策、他市の動向を見て検討したい。

市内の児童虐待問題

質問　悲惨な事件の報道が後を絶たない。平成21年の市内の虐待相談は25件あったと報告されたが、現状の認識と防止対策は。



答弁　市の子ども家庭支援センター「のどか」への相談件数は年々増加傾向で、内容も複雑化してきている。関係機関との連携強化、相談事業の充実に努めていく。

いこいの森公園をつつじの名所に

質問　市民まつりは大盛況だが、年間2日間だけだ。公園に市の花であるつつじを植え、谷戸小学校隣接の東大農場売却予定地に大駐車場をつくれば、市の名所として大勢の市民や観光客を誘致できると思うが。

答弁　同公園は災害時の避難場所でもあり、種々検討事項があるので、提案は今後の検討課題としたい。

一般質問（4）

自然保護にリーダーシップを！ しらじ窪の保全・谷戸水路の境界

小林　たつや（自民）

質問　東大農場のオオタカの存在確認について。

答弁　大学側で調査実施をしており、市に結果概要が口頭により情報提供された。調査結果自体は密猟・乱獲の恐れがあることから一般に非公開の扱いとなる。

意見　自然保護、生物保護の観点からも、市が強いリーダーシップを持ち動植物を守る政策、行動を行うことを強く要望する。

質問　しらじ窪の緑地保全について、その後の動きは。

答弁　緑地の開放を求める要望を、東京都に伝えていく。

意見　この地区の除草等の管理を市で行い、地域住民への開放を望む。

質問　谷戸地区水路の境界確定について。

答弁　国から譲与された水路は、境界確定等を計画的に行っている。現在占用している部分なども多くあり、住民との話し合いを行い、市側の譲歩も視野に入れた対応をされるよう提言する。

質問　個人情報の取り扱いについて。

答弁　善意の問い合わせであっても慎重に対応している。

意見　地域コミュニティを崩壊させかねないような欠点が多く出ている。
　早急な対応、改善、善処を強く要望する。

義務教育就学児までの医療費 無料化を完全実施せよ

遠藤　源太郎（自民）

質問　人にやさしいまちづくり条例についての見解は。

答弁　開発事業において、市、市民、事業者の責務を明確化したが、すべての人の賛同を得るのは難しい。

質問　魅力ある農業、持続可能な都市農業に力を注げ。

答弁　市内ですばらしい農産物が生産され市民もびっくりしている。相続税が最大のネックである。

質問　西東京市が発足10周年になる。人口増の課題は。

答弁　教育、保育施設の不足や都市基盤整備が遅れた。地域のコミュニティの希薄化があらわれてきている。

質問　都市計画道路の位置づけがある田無駅南口の広場の整備は。

答弁　南口の将来動向等から問題課題を調査している。

質問　IHI跡地周辺道路整備が進み通学路も変更されたが、いまだに横断歩道ができない。地元市長の要請は警察も応えるはずだが。

答弁　早期実現に努力する。

質問　義務教育見まもりの医療費無料化を完全実施せよ。

答弁　国の子ども手当の動向が不透明であり不確定である。財源確保が難しい。

質問　新学習指導要領実施が迫ってきている。ゆとり教育からの方向転換だが対応は。

答弁　各学校に指導助言していく。説明会も開く。

学童クラブ児童の帰宅時にも交通 擁護員の配置を求める

安斉　慎一郎（共産）

質問　4月に本町小学校前の信号機の交差点で、学童クラブから帰宅途中の男児が死亡する痛ましい事故があった。7月から、学童クラブ指導員が信号のところまで安全確認をすることになったと聞いている。交通擁護員配置の検討状況を問う。

答弁　近隣市の状況や財政状況を勘案して検討する。

認可外保育園保護者助成金の増額を求める

質問　4月から認可外保育園の保護者助成金を月額5千700円から8千円に引き上げたことを評価する。
　助成金の増額を求めた陳情を文教厚生委員会で審査した際に、他市の例を参考にしながら1万円くらいという答弁があったと思う。さらに増額する考えは。

答弁　拡充については、近隣市を参考に、財政状況を前提としながら検討する。保谷町5丁目の市有地では、老人会の方々が暫定使用して軽スポーツをしている。売却の方針のことだが、見解を問う。

答弁　第3次行財政改革大綱の中で、財源確保のため売却する考えだ。

意見　スポーツと健康と医療費は密接な関係がある。ぜひ再検討を求める。



保谷町5丁目の市有地

ごみ袋大幅値下げは大きな成果 次はプラスチック袋を無料に！

佐藤　公男（公明）

ごみ減量化に向けて

質問　ごみ袋値下げでは公明党が市民の家計を助けた。次はごみ袋をばら売りし、レジ袋の削減が重要だ。

答弁　先進事例を参考にレジ袋削減を着実に進める。

意見　次はプラスチック袋を無料にすることが、さらなる分別の促進につながる。

うつ病の早期発見に有効策

質問　市報に「心の健康診査表」を掲載し、症状が深刻化する前に健康相談を受けることで、うつ病の早期発見が期待される。

答弁　うつ病対策で非常に有効な仕組みであり、活用に向けて調査研究する。

特養でのたんの吸引準備

質問　市内特養で介護職員がたんの吸引等の医療行為を行う準備は。

答弁　今後対応を検討する。

経済危機に直面する今こそ 心を耕す文化振興事業に力を！

中田　惠美子（公明）

質問　平成21年の国の事業仕分けで、文化芸術関係事業が「縮減」「廃止」された。市にはある来年度予算の考え方を問う。
　また、国の廃止される事業の中に「伝統文化子ども教室」がある。本市においては、3団体が事業を実施している。そこで市独自で継続する考えはないか。

答弁　前述こそすれ後退はしない、と考える。「伝統文化子ども教室」は国等の動向に留意し、検討する。

質問　平成22年10月にあった事業仕分けで、住宅用太陽光発電導入支援対策費が取り上げられた。本市で実施する太陽光発電の設置助成制度等に影響はあるのか。

答弁　国は、太陽光発電の設置補助制度から全量買い取り制度に移行を促すものと理解している。本市においても今後、制度のあり方を検討する。

意見　制度の移行は、太陽光発電を設置する家庭にはメリットがあるが、その他の家庭は電気料金の値上げになる。負担のあり方を検討すべきだ。また、これまで提案してきたLED電球を購入された市として補助をすべきだ。LED電球にかえることでCO²の削減につながり、市民全体に還元できる。早期実施を要望する。

福祉充実・子育て支援は市民の声 周辺住民の意向に沿った街づくり

倉根　康雄（共産）

質問　日本共産党が行った市政アンケートでは「暮らし向きが苦しくなった」が63％あり、医療・福祉・介護・子育て支援の施策の充実を望む声が多く寄せられている。市民サービスの維持・向上に対する市長の見解を伺う。

答弁　有効財源の確保を図り、新たな行政需要にも果敢に取り組み、市民サービスの向上を図っていく。

質問　田無駅南口整備について、周辺の交通基礎調査、現在の検討状況、今後の地権者並びに地域住民・市民の意見集約など、想定されるスケジュールについて伺う。

答弁　調査をもとに、将来の交通施策等のあり方を慎重に検討し、地域の方々の意向を踏まえ整備に努めたい。

質問　府中道芝久保郵便局付近の拡幅と安全対策を。また、病院駐車場側に歩道を確保できないか。

答弁　緊急的にどのようなことができるのかも含め、調査研究したい。

質問　東大農場には多くの動植物が生育し、絶滅危惧種をはじめ、植物約600種、昆虫約700種以上が確認されている。自然環境保全に最大限の努力を求める。

答弁　環境保全の面で適切に配慮されるよう働きかけをしている。

行い安全性は確保されている。緊急対応を要する状況にはない。建てかえについては、耐力度調査結果や今後の児童数の動向を踏まえ、今年度中に課題・問題点の整理を行い、その後、庁内検討会で検討していく。



ひばりが丘中学校

「はなバス」第4ルートの拡充と 保谷庁舎までの直通ルートを！

藤岡　智明（共産）

質問　はなバス第4ルートの田無町7丁目都住・芝久保公民館経由の拡充、花小金井駅までの延伸について伺う。また、西原町から保谷庁舎へ乗り換えなしで行けるルートの開設を求める。

市長　地域交通会議の「はなバスルート等見直しに関する報告書」で、中・長期的見直しの方向性として、田無駅北口発着ルートで芝久保公民館を経由し多摩六都科学館に至るルートや、多摩六都科学館経由で花小金井駅に至るルートの可能性について、周辺の交通基礎調査、現在の検討状況、今後の地権者並びに地域住民・市民の意見集約など、想定されるスケジュールについて伺う。

答弁　調査をもとに、将来の交通施策等のあり方を慎重に検討し、地域の方々の意向を踏まえ整備に努めたい。

質問　府中道芝久保郵便局付近の拡幅と安全対策を。また、病院駐車場側に歩道を確保できないか。

答弁　緊急的にどのようなことができるのかも含め、調査研究したい。

質問　東大農場には多くの動植物が生育し、絶滅危惧種をはじめ、植物約600種、昆虫約700種以上が確認されている。自然環境保全に最大限の努力を求める。

答弁　環境保全の面で適切に配慮されるよう働きかけをしている。

憲法を身近に。子どもも大人も 読める「憲法冊子」の発行を

保谷　清子（共産）

質問　憲法を暮らしに活かすためにも「子どもも大人も読める憲法冊子」の発行を求める。

答弁　他市の例も参考に検討していきたい。

質問　夏の猛暑対策として、普通教室へのクーラーの設置を求める。

答弁　市財政を見ながら検討していきたい。

質問　環太平洋経済連携協定（TPP）への参加は、捗状況と、今後予測される生活道路への車両進入についての対応を伺う。

答弁　武蔵野徳洲会病院は、建物の階層を低くし、病院と老健施設を分けて建設する計画である。車両進入の心配については、状況を確認し、田無警察署と協議を行う。

質問　市財政を見ながら検討していきたい。

質問　IHI跡地開発の進捗状況と、今後予測される生活道路への車両進入についての対応を伺う。

答弁　武蔵野徳洲会病院は、建物の階層を低くし、病院と老健施設を分けて建設する計画である。車両進入の心配については、状況を確認し、田無警察署と協議を行う。

中原小学校、ひばりが丘中学校の建てかえについて

質問　老朽化した中原小、ひばりが丘中は建てかえが待たれている。どのような検討をしているのか。

教育長　昨年度、耐力度調査を実施。建物の老朽度は進んでいるが、耐震補強を性について検討するとしている。保谷庁舎までのルートについては、市民利用者の利便性が向上するよう、中長期的な見直しの可能性について検討を進めていきたい。

中原小学校、ひばりが丘中学校の建てかえについて

質問　老朽化した中原小、ひばりが丘中は建てかえが待たれている。どのような検討をしているのか。

教育長　昨年度、耐力度調査を実施。建物の老朽度は進んでいるが、耐震補強を日本の農業や地域経済に壊滅的な打撃を与える。TPPに対する見解を伺う。

答弁　是非については評価が分かれていると理解している。今後、国の動向などを注視していきたい。

質問　農業振興計画で重要な課題と位置づけられているものについて伺う。

答弁　農地へのごみの投棄については、市民を含めた意見交換を行い、マナーアップにつなげていきたい。農産物販売経路の拡大は、関係者と検討していきたい。

中学校給食5月開始の説明を！ 障害者用停車区域の設置を！

小幡　勝己（公明）

質問　施策評価を有効活用し、予算編成に反映させよ。

市長　評価結果を踏まえた予算編成をする。

質問　義務教育就学児医療費助成事業の所得制限を撤廃せよ。

市長　予算編成で検討する。

質問　駅前広場に障害者用の停車区域を設置せよ。

市長　検討する。

質問　東大の危険な万年塀を改修し、安全を確保せよ。

市長　危険な箇所があれば東大に伝える。

質問　市内街路灯にLEDを積極的に採用せよ。

市長　駐輪場、駐車場から取り組んでいる。

質問　長期にわたり整備されない市道の側溝について。

市長　沿道の土地所有者の理解を得ながら整備を検討。

質問　通学路の安全を確保せよ。

教育長　パトロール体制の見直しを行っている。

質問　中原小学校と35人学級について。

教育長　教育環境に支障がないよう努める。

質問　学校施設開放事業を弾力的に活用せよ。

教育長　来年度に整理する。

質問　中学校給食について。

教育長　審議会での審議で、5月開始が適当とされた。給食費の支払いについても、審議会の答申を尊重し、今後、教育委員会で決定する。

教育長！子どもたちのために 教室にクーラーを設置せよ！

新井　五郎（公明）

質問　第3回定例会で、小中学校のクーラーの設置について、「現在、普通教室の暑さ対策としては、環境問題や教育的視点から緑のカーテンや扇風機での対応をしております。しかし、一昔前とは違う近年、特に、ことしの猛暑を考え、普通教室へのクーラーの設置につきましては教育環境の整備として、市財政を勘案しつつ検討していきたい。」との答弁があった。市財政を勘案するとは、どこで、だれが、いつごろに考えをまとめるのか。また、教室内が40度に到達し、ぐあいが悪くなっても勉強する強い精神力をつけるということなのか。

答弁　普通教室にクーラーを設置する費用は10億円程度である。市長会は東京都に対し、多摩地域の小中学校における冷房化を推進するため、整備完了まで継続的に財政支援するよう要望している。教育委員会としてはできるだけスピーディーに検討していきたい。また、教育的視点とは、子どもが暑さに我慢できる耐性をつけることではなく、学習に集中できる環境をつくっていくことを目指すものであり、できるところからできるだけ早く、少しずつでもやっていく決意である。

一般質問 (5)、議場コンサートレポート



一人の声が市政を変える 生活者の目線が市政を動かす！

岩越　笙子（公明）

電子地域通貨について

質問　２０１１年から杉並区ではボランティアによるポイントや区内共通商品券のポイントをＩＣカードに搭載する。西東京市においてもかねてより提案しているが早期に実施すべきでは。

答弁　課題を含め検討する。

保谷町５丁目未利用地の存続利用について

質問　売却の予定とされているが、現在は老人クラブが軽スポーツを行うために暫定利用している。高齢者の健康増進のため継続的に利用できないか。

答弁　売却の方針ではあるが、ご意見を拝聴し今後研究していきたい。

手話通訳者養成講座の拡充

質問　上級コースのさらに上の講座を、５月に開設する障害者総合支援センターで行ってはどうか。

答弁　前向きに検討する。

保育園の園庭の芝生化

質問　芝生化により子どもたちがけがを恐れず外遊びができ、夏場の温度上昇も抑えられる。早期実施を。

答弁　今後調査研究をする。

西武柳沢駅北口周辺整備

質問　駅前広場整備は地域住民の関心事であり、商店街活性化のために富士街道のインターロッキング化を提案してきた。進捗状況は。

答弁　商店会等地元の要望があれば東京都に伝える。

保谷駅南口の危険な都道の解消に バイパス道路の早期完成を図れ！

佐々木　順一（公明）

生活道路の整備について

質問　出会い頭の衝突事故等危険な交差点の改善や狭隘道路の拡幅が遅々として進んでいない。市民の安全・安心を確保するため、市が用地買収により整備する仕組みが必要である。

市長　危険な交差点等の用地買収による整備は検討課題の一つと考えている。

保谷駅南口再開発事業

質問　都市計画決定以来10年目にして、再開発事業も最終段階にきた。しかし、再開発事業は、危険な都道233号線を解消するため、都が都市計画道路３・４・12号線（バイパス道路）を整備し、駅前広場に連結するのが最終目的だ。早期完成に市として取り組め。

市長　重要な交通アクセス路線と考えており、早期完成に向けて、市も都に協力したい。

ひばりヶ丘駅北口の整備

質問　ひばりヶ丘駅北口を利用する市民の方は、一日も早い整備を期待している。事業執行体制の充実を図れ。

市長　まちづくりの進捗状況を勘案して対応したい。

地域のコミュニティづくり

質問　コミュニティの衰退により、独居老人の孤独死や児童虐待などが社会問題となっている。地域のコミュニティの確立を図れ。

市長　調査検討に取り組む。



ひばりヶ丘駅北口

「権利」でなく「支援」の条例を 介護は「上乗せ・横だし」を！

小峰　和美（無所属）

質問　（市が策定に向け検討している）子どもの権利条例について、「権利」という言葉の使い方で騒がれている。「権利、義務」ではなく、岐阜県大垣市のような「子どもの育成と子育て支援」に主眼を置いた条例にしてみてはどうか。

答弁　現在、西東京市で策定中の条例案の中にも、「子どもが健やかに育ち、安心して子育てができるまち」という理念が十分含まれていると考えている。条例に使用する文言等については、慎重にさまざまな意見をいただきながら、策定作業を進めていく。

質問　「介護保険サービスが十分でない」、「（介護保険制度の）柔軟な運用を望む」といった新聞記事を目にした。人口約４万４千人の愛知県高浜市では、「福祉の市」を方針とし、市長が先頭に立って「上乗せ・横だし」のサービスを行っている。介護保険に関して、本市ではどのような考えを持っているのか。

答弁　本市では、介護保険料抑制の観点から行っていない。都内自治体も同様であるが、保険料に影響する介護保険制度としてでなく、一般施策として、給食サービスや寝具乾燥サービスなど、さまざまな高齢者福祉の施策を充実させている。



用語の解説

＊多文化共生センター
地域で暮らす外国人の日常生活相談や外国人支援ボランティアの拠点として、平成21年４月、市役所田無庁舎隣のイングビルにオープンした。

＊「一校一取組」、「一学級一実践」運動
東京都が児童・生徒の体力・運動能力の向上を図るため行っている取り組みのこと。小学校では学級担任が体育授業を行うので、「一校一取組」運動の展開に加え、「一学級一実践」運動を実践している。

＊環太平洋経済連携協定（ＴＰＰ）
シンガポールなど４カ国が平成18年に結んだ広域的な自由貿易協定。加盟国間での関税を撤廃し、自由貿易圏をつくろうとするもの。

＊私立幼稚園預かり保育推進補助金
市内の私立幼稚園が行う預かり保育に要する経費の一部を市が補助するもので、平成22年度に創設された。



議場コンサートレポート 大盛況!!　初の「議場コンサート」

11月25日（木）午前10時から、議場を会場とした初の「議場コンサート」を開催しました。

いつもは、議会の際に議員が座る席も傍聴席も、お越しになった74名の市民の皆さんでいっぱいになりました。

演奏は、東京ニューシティ管弦楽団。平成22年４月から保谷こもれびホールと相互協力・提携をしたオーケストラで、市の文化・芸術の振興に大変貢献されています。当日の団員は56名で、客席に迫る勢いの大編成！

オープニング曲は、市歌の「大好きです、西東京」。

「威風堂々」「美しき青きドナウ」などの約30分の演奏に、市民の皆さんも大変感動されていました。

今回のコンサートで、初めて議場にいらっしゃった方も多く、このコンサートが、議会に親近感を感じていただけるきっかけとなっていただけたならば幸いです。





ちょっと拝見!! アンケート結果

当日60名の方がアンケートに回答くださいました。ありがとうございました。

Q♪. 曲目や演奏は？

こんな近くで演奏を聞けてよかった

よかった	95%
ふつう・無回答	5%

Q♪. また議場コンサートを聴きに来たい？

はい	100%

Q♪. 議場コンサート開催の情報はどこから？

1位	新聞・地域情報紙
2位	ホームページ
3位	チラシ

Q♪. ご来場者の年代は？

議場でのコンサートというのがユニーク

1位	60代	45%
2位	70代	30%
3位	50代	10%

委員会の審査から等、退任議員紹介

委員会の審査から

議案や皆さんから提出された請願・陳情は、原則として所管の常任委員会等で審査を行います。ここでは、第４回定例会で議決された主な議案等の審査の概要をお知らせします。

企画総務委員会

「市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」
「市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例」
「教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例」

【説明】特別職報酬等審議会の答申を踏まえ、市議会の議員、市長、副市長、常勤の監査委員及び教育長の期末手当の支給割合を改正するため、それぞれ関係する条例を一部改正するものである。改正内容としては、いずれも期末手当の支給額を減額するものである（減額の内容　左表参照）。

役職	期末手当（年間の削減額）
議長	154,080 円
副議長	137,760 円
常任委員長、特別委員長、議会運営委員長	133,680 円
議員	129,600 円
市長	243,120 円
副市長	215,520 円
常勤監査委員	167,040 円
教育長	191,280 円

【主な質疑等】
問　審議会の構成及び公募市民の選出方法について。
答　大学教授が２名、税理士、弁護士、労働組合、商工会、青年会議所、農業団体の各代表から４名、公募委員が２名の合計10名の構成である。公募委員の選出は、市報で公募し、抽せんにより決定した。
問　期末手当の算出根拠として、議員報酬の月額に100分の20を乗じた額を加算（役職加算）する内容について、審議会で話し合われたのか。
答　役職加算は、平成２年の人事院勧告により創設されたもので、民間では役職により特別給の支給額に差がついており、制度導入時から公務員給与と民間の支給実態と均衡を保つ意味から、このような制度となっていることを審議会で説明した。
【結果】いずれも賛成全員で可決

文教厚生委員会

「障害者総合支援センター条例」
【説明】障害者の自立及び社会参加を支援するとともに、障害者が社会を構成する一員として地域において生活し、活動できる環境づくりの促進を図ることを目的に設置する。施設は平成23年５月６日に開館する（ただし、有料施設は、９月１日）。
【主な質疑等】
問　外部に委託する事業所は、どの程度決定しているのか。
答　現時点で相談支援センターが決定していない。それぞれの障害に対し専門の事業者に委託する予定で進めている。
問　生活介護事業所の収容人数は、どの程度見込んでいるのか。
答　現在は、定員40名であるが、新施設では10名拡充し、50名となる。
【結果】賛成全員で可決

「高齢者センターきらら条例の一部を改正する条例」
【説明】　施設の休館日、使用料等に関する改正を行うものである。休館日については、12月29日から翌年の１月３日までとし、また、事業に係る使用料については、口座振替によることができるようにしたこと、その他実費相当額等の徴収方法を変更するものである。
【主な質疑等】
問　実費相当額の徴収方法の変更は、利用者からの要望なのか。
答　アンケート等の中で要望があった。
【結果】賛成全員で可決

「住吉会館条例の一部を改正する条例」
【説明】心身障害児通所訓練施設「ひよっこ」の事業を障害者自立支援法に基づく児童デイサービスに移行し、こどもの発達センターひいらぎの分室として統合するものである。
【主な質疑等】
問　施設への送迎に関し、何か変更が生じるのか。
答　「ひよっこ」への送迎について利用者負担が生じる。
問　「ひよっこ」を有料化するのでなく、「ひいらぎ」を無料化する方向とすべきでないのか。
答　法に基づく事業とすることが改正の目的である。利用者に負担を求めることが目的ではない。
【結果】賛成全員で可決

建設環境委員会

「住宅リフォーム助成制度の創設を求める請願」
「住宅のリフォーム工事に対する助成制度に関する請願」
「住宅リフォーム助成制度新設・拡充を求める陳情」
【趣旨】市民が市内の施工業者により住宅のリフォーム工事を行う場合、その工事代金の一部を市が助成する制度の創設を求めるもの。
【主な質疑等】
問　法的な規制があるわけではない。市の意向としてどうなのか。
答　現在、市では耐震改修や高齢者、障害者を対象とする改修の補助を行っている。この請願及び陳情の内容として個人の資産形成への直接補助となる点を踏まえると、慎重に対応する必要があると考える。
　また、市内事業者に対しては、貸し付け制度のほか自立支援住宅改修費助成や介護サービスとしての住宅改修費など各種の施策を講じてきているところである。
【結果】いずれも賛成少数で不採択

「市道２１２６号線に安全な歩行者空間の設置を求める陳情」
【趣旨】市道２１２６号線（東伏見２丁目　東伏見駅南交差点に接続する東西道路）は、一般的な歩道とは異なり、大半が車道に向かって斜めの形状となっている。安全な歩道とは言えず、車いすなどが転倒する可能性がある。歩道の改良工事を行うことを強く求めるもの。
【主な質疑等】
問　傾斜になっている一つの理由として住宅車庫への車の乗り入れのため、そのような構造となっているようだが、今後、要望にこたえることはできないのか。
答　安全で歩きやすい歩道の整備は重要である。どのような形で整備できるか調査していきたいと考えている。
【結果】賛成全員で採択


建設中の障害者総合支援センター


市道 2126 号線の傾斜部分

駅周辺再開発等特別委員会中間報告

　本委員会は「保谷駅南口地区市街地再開発事業について」、「ひばりヶ丘駅周辺まちづくりについて」を引き続き調査することとし、議案７件、請願１件を審査してきた。


I 街区ビル

保谷駅南口地区市街地再開発事業について
【調査経過】
　開発事業を進めてきた特定建築者の会社更生手続により、I 街区工事の中断が報告された。その後建築工事を継続するための和解の議案を可決した。
【主な意見】
・商業ビルオープン時に全店舗が同時開業できるよう、可能な限り努力してほしい。
・都市計画道路３・４・12号（東町線）の早期整備により、快適に商店街で買い物を楽しめ、歩行者が安全に移動できるみちづくりを進めるべきである。
・周辺部を含めたまちづくりに積極的に取り組み、地域の活性化に努力されたい。

ひばりヶ丘駅周辺まちづくりについて
【調査経過】
　都市計画道路３・４・21号（ひばりが丘駅北口線）の事業進捗状況、北口のまちづくりは東京都が街並み再生地区の指定・街並み再生方針の策定を行ったと説明を受けた。
【主な意見】
・駅へのエレベーター・エスカレーター設置が一日も早く実現されることを願う。
・事業用地の取得等進捗状況の十分な把握に努め、前倒しで推進するよう努力を求める。
・市の事業として、所期の目標を達成できるように努力されたい。
※詳しい内容は会議録（２月上旬発行予定）に収録されます。両庁舎の情報公開コーナーや各図書館、ホームページ等でご覧ください（ホームページでは２月下旬公開予定）。

１月20日の任期満了に伴い、次の１２名の議員が退任いたします。

新井　五郎　議員
板垣　洋子　議員
岩越　笙子　議員
海老沢　進　議員
大塚　光男　議員
鈴木　久幸　議員
相馬　和弘　議員
中田　恵美子　議員
二木　孝之　議員
望月　伸光　議員
森　信一　議員
山崎　英昭　議員

（あいうえお順）

西東京市 議会だより

議決結果（議案、請願・陳情）、意見書、会議の開催状況等

第４回定例会 議案の議決結果一覧

○賛成 ×反対

件名 ＼ 会派（ ）は所属議員数		西東京自由民主党（8）	西東京市議会公明党（6）	民主党・社民クラブ（6）	日本共産党西東京市議団（4）	生活者ネットワーク（2）	無所属・市民の目（1）	無所属・市民派無所属（1）	無所属・市民会議（1）	結果
条例定例	・障害者総合支援センター条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例改正	・市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例 ・市長等の給与等に関する条例 ・教育委員会教育長の給与等に関する条例 ・一般職の職員の給与に関する条例 ・田無総合福祉センター条例 ・高齢者センターきらら条例 ・住吉会館条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
その他	・市道路線の認定（17件）	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案	・子ども手当財源の地方負担に反対する意見書 ・ロシア大統領の北方領土訪問に対し、毅然とした外交姿勢を求める意見書	○	○	○	×	○	×	○	○	可決
	・朝鮮高級学校を高校授業料無償化の対象とすることについての意見書	○	○	※○	×	×	×	×	×	可決
	・保育制度の改革に関する意見書	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
	・北朝鮮の韓国・延坪島への砲撃に関する意見書	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
	・*環太平洋戦略的経済連携協定への参加に対する意見書	○	×	※×	○	×	○	×	×	否決

※は一部退席

請願・陳情の結果（）は付託委員会

採択されたもの

○市道２１２６号線に安全な歩行者空間の設置を求める陳情（建設環境）

趣旨採択されたもの

○学童クラブに関する陳情（文教厚生）
○向台町４丁目尾林造園跡地開発に関する陳情
○自然環境に関する陳情
○西東京市の自転車等の駐輪行政の改善を求める陳情（以上、建設環境）

不採択となったもの

○市の木・市の花の指定を見直すことを求める陳情
○「市長への手紙」の名称変更もしくは運用の改善を求める陳情
○西東京市における広報制度の改善を求める陳情
○広報誌に関する陳情
○西東京市における情報公開制度の改善を求める陳情
○西東京市の契約制度の改善を求める陳情
○市役所田無庁舎総合管理業務の業務改善を求める陳情
○危機管理室の組織改編及び人員増加による人員適正化を求める陳情
○市内の公立保育園で自家用車による送り迎えを原則禁止することを求める陳情
○市内商業企業に対し健康増進法を遵守するよう指導を行うことを求める陳情（以上、文教厚生）
○住宅リフォーム助成制度の創設を求める請願
○住宅のリフォーム工事に対する助成制度に関する請願
○住宅リフォーム助成制度新設・拡充を求める陳情
○市内で石神井川が流水していない部分のたまり水を水質調査することを求める陳情
○市内における鳥獣対策を行うことを求める陳情
○田無駅周辺のポイ捨て・路上喫煙防止地区事業の改善を求める陳情
○西東京市における危機管理体制の改善を求める陳情（以上、企画総務）
○東大農場における自然環境の保存と都市計画道路西東京３・４・９号線の着工延期に関する陳情（以上、建設環境）
○西東京市議会を活性化し、民意を的確に市政に実現できるようにするために、条例を制定して議会制度審議会の設置を求める陳情（議会運営）

継続審査となったもの

○「西東京市子ども権利条例」の再考を求める陳情
○「西東京市子どもの権利に関する条例」の制定を求める陳情（以上、文教厚生）
○いこいの森公園の噴水に関する陳情
○CO²の25％削減の国際公約実現に協力するため、太陽光発電装置の設置を普及・促進するための条例制定を求める陳情
○市内活性化のために市内にある企業と共同して事業を行うことを求める陳情（以上、建設環境）
○土・日曜日に西東京市議会の開催を要望する陳情（議運）

今定例会で可決した意見書

■子ども手当財源の地方負担に反対する意見書
【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国家戦略担当大臣、内閣官房長官

■ロシア大統領の北方領土訪問に対し、毅然とした外交姿勢を求める意見書
【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、北方対策担当大臣、国家戦略担当大臣、内閣官房長官

■朝鮮高級学校を高校授業料無償化の対象とすることについての意見書
【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣、国家戦略担当大臣、内閣官房長官

■保育制度の改革に関する意見書
【提出先】内閣総理大臣、厚生労働大臣

■北朝鮮の韓国・延坪島への砲撃に関する意見書
【提出先】内閣総理大臣、外務大臣、内閣官房長官

会議の開催状況（平成22年10月～12月）

10月
1日　決算特別委員会
5日　本会議（委員会審査報告～議決）、議会運営委員会

11月
15日　**第４回定例会**・本会議（議案等上程～付託）、議会運営委員会、議会報編集委員会
16日　本会議（一般質問）
17日　本会議（一般質問）
18日　本会議（一般質問）
19日　本会議（一般質問）、議会運営委員会
22日　企画総務委員会、文教厚生委員会
24日　建設環境委員会
25日　駅周辺再開発等特別委員会
26日　議会運営委員会、会派代表者会議

12月
1日　本会議（委員会審査報告、議員提出議案上程～議決）、企画総務委員会、議会運営委員会

編集後記

1月20日をもって4年間の任期が終了いたします。したがいまして現編集委員として発行する最後の号となります。

サラリーマンからの転身だった私にとっては、すべてが初めての経験であり、ン十年に匹敵するような激動の4年間でした。

地方分権・地域主権が叫ばれる中、これまでの慣例にとらわれることなく、新しい議会のあり方を模索した4年間でもありました。

民間的な発想で、よき伝統は継承しながら新しいことにチャレンジする。一つ一つの改革の積み重ねこそが西東京市の基盤を築くとの思いで、取り組んでまいりました。

議会だよりにもそんな改革への思いが詰まっています。今号もご覧いただきましてありがとうございました。（S）

R70 古紙配合率70%再生紙を使用

お問い合わせ
議会だよりについて　議会事務局庶務調査係　☎042-460-9860
傍聴等について　議会事務局議事係　☎042-460-9861
市議会ホームページ
http://www.city.nishitokyo.lg.jp/sigikai/index.html